



鉄鉱石－ナトリウム定量方法

JIS M 8207 : 2013

(JISF)

平成 25 年 6 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	佐久間 健 人	高知工科大学
(委員)	磯 村 陽 治	一般社団法人日本鉄道施設協会
	岩 本 佐 利	一般社団法人日本電機工業会
	宇 治 公 隆	首都大学東京
	太 田 幸 男	高圧ガス保安協会
	緒 方 隆 昌	一般社団法人日本非破壊検査協会（川崎重工業株式会社）
	岡 崎 雅 之	公益社団法人自動車技術会（株式会社本田技術研究所）
	北 田 博 重	一般財団法人日本海事協会
	吉 良 雅 治	一般社団法人日本産業機械工業会
	櫛 田 宏 一	JFE スチール株式会社
	小 林 美寿夫	ステンレス協会
	田 中 龍 彦	東京理科大学
	千 葉 光 一	独立行政法人産業技術総合研究所
	都 祭 弘 幸	社団法人日本建設業連合会（五洋建設株式会社）
	長 井 寿	独立行政法人物質・材料研究機構
	芳 山 純一郎	新日鐵住金株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 58.12.1 改正：平成 25.6.20

官 報 公 示：平成 25.6.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本鉄鋼連盟

（〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 稲葉 敦）

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会（委員長 佐久間 健人）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文.....	1
1 適用範囲.....	1
2 引用規格.....	1
3 一般事項.....	1
4 要旨.....	1
5 試薬.....	2
6 器具及び装置.....	2
7 試料はかりとり量.....	3
8 操作.....	3
8.1 器具の洗浄及び洗浄度のチェック.....	4
8.2 試料溶液の調製.....	4
8.3 吸光度の測定.....	5
9 空試験.....	5
10 検量線の作成.....	5
10.1 検量線用溶液の調製.....	5
10.2 検量線の作成.....	6
11 計算.....	6
12 許容差.....	6
12.1 室内再現許容差及び室間許容差.....	6
12.2 対標準物質許容差.....	7
13 最終結果の計算.....	7
附属書 JA（参考）JIS と対応国際規格との対比表.....	8
解 説.....	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS M 8207:1995** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

鉄鉱石—ナトリウム定量方法

Iron ores—Determination of sodium

序文

この規格は、2006年に第2版として発行された **ISO 13313** を基とし、操作などについて技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、鉄鉱石中のナトリウム定量方法について規定する。この規格は、鉄鉱石中のナトリウム含有率（質量分率）0.002 5 %以上 0.50 %以下の定量に適用する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 13313:2006, Iron ores—Determination of sodium—Flame atomic absorption spectrometric method (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS M 8202 鉄鉱石—分析方法通則

JIS Z 8402-6 測定方法及び測定結果の精確さ（真度及び精度）—第6部：精確さに関する値の実用的な使い方

3 一般事項

この規格に規定していない、鉄鉱石の定量方法に共通な一般事項は、**JIS M 8202** による。

4 要旨

試料を塩酸とふっ化水素酸とで分解し、蒸発乾固する。塩酸を新たに加えて再度蒸発乾固し、塩酸で溶解して適量に希釈する。原子吸光分析装置のアセチレン・空気フレーム中に噴霧し、ナトリウム中空陰極ランプから放射される波長 589.0 nm の光の吸光度を測定する。